

(様式7)

## 公共事業継続箇所評価調書

評価確定日(平成30年9月28日)

事業コード	H30-建-継-09		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道107号		担当課長名	道路課長 佐藤 秀治
箇所名	横手市大沢(大沢バイパス)		担当者名	主幹(兼)班長 太田 哲
総合計画との関連	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略
	施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	03	施策目標(指標)名	地域間ネットワークの構築

## 1. 事業の概要

事業期間	H21 ~ H34(14年)	総事業費	18.8億円	国庫補助率	0.5950		
事業規模	○延長L=1,700m、幅員W=6.5(12.0)m(1.50+3.25+3.25+1.50+2.5)m						
事業の立案に至る背景	○一般国道107号は、岩手県大船渡市を起点に本県由利本荘市に至る幹線道路であり、県内陸部と沿岸部を結ぶ物流ルートとして、地域間交流・連携を支える交通ネットワークを形成する重要な路線である。 当工区は、国道107号唯一の未改良区間(車道5.5m未満)であり、大型車の交差が困難な幅員狭小区間である。そのため、区間死傷事故率8.4件/億台kmと事故が多発していることから、円滑な交通の確保及び安全安心な生活空間の確保を図るため、事業を実施するものである。						
事業目的	○大型車のすれ違い困難となっている幅員狭小区間の解消(W=5.0(6.0)m)。 ○線形不良区間の解消(Rmin=110m、imax=5.7%)。 ○死傷事故率(8.4件/億台km)が高くなっており、早急な対応必要。 ○地域間交流・連携をささえる交通ネットワークの整備。						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	1,777,000	1,875,000	98,000			
	経費内訳	工事費	1,159,000	1,159,000	0		
		用補費	489,000	523,000	34,000	水道管移設補償費の増	
		その他	129,000	193,000	64,000	事業認定資料作成業務の増	
	財源内訳	国庫補助	1,243,900	1,115,625	▲128,275		
		県債	480,000	683,400	203,400		
その他							
一般財源	53,100	75,975	22,875				
事業内容	調査・設計 改良工 舗装工	調査・設計 改良工 舗装工			国庫補助率の変更による		
事業の進捗状況	○平成29年度末で事業進捗率42%(用地進捗率は97%)。						
事業推進上の課題	○特になし。						
関連する計画等	○横手市総合計画。						
情勢の変化及び長期継続の理由	○横手スマートIC H30年度供用予定。						
事業効果把握の手法及び効果	指標名	県管理国道改良率					
	指標式	改良率(県管理国道改良済延長/県管理国道実延長)					
	指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目標値 a	94.1%		データ等の出典	道路課調べ		
	実績値 b	93.8%		把握の時期	平成30年 4月		
達成率 b/a	99.6%						

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> ● 選定または継続 <input type="radio"/> ○ 改善 <input type="radio"/> ○ 見直し <input type="radio"/> ○ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	○国道107号唯一の未開両区間(車道5.5m未満)であり、大型車の交差が困難な区間がある。特に、冬期間は耐雪によりさらに深刻な状況となっている。 ○現道は84件/億台kmと事故率も高く、出羽グリーンロードとの交差点改良も含めて対策が急がれている。	14点
緊 急 性	○本路線は、地位間交流・連携を支える交通ネットワークを形成する重要な路線である。 ○東北自動車道と日本海沿岸東北自動車道を結ぶ物流ルートとして、今後も交通量の増加が見込まれる。	15点
有 効 性	○第二次緊急輸送道路であり、災害や救急医療施設へのアクセス道路としての活用が見込まれ、防災計画上の重要路線である。	24点
効 率 性	○事業の費用便益比は2.32であり、効率性は高い。 ・総便益の現在価値 44.0億円 ・総費用の現在価値 19.0億円 ○計画交通量は3,800台/日となっている。	18点
熟 度	○平成29年度末の事業進捗率は42%である。 ○平成29年度末の用地買収進捗率は97%である。	15点
判 定	ランク ( ●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ )	8.6点
	必要性、緊急性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> ● 継続 <input type="radio"/> ○ 改善して継続 <input type="radio"/> ○ 見直し <input type="radio"/> ○ 中止	事業継続は妥当である

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

コスト削減に努めながら、事業を継続する。
----------------------

4. 公共事業評価専門委員会意見

--

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 道路改築事業（地域間交流・連携促進）

事業コード ( H30-建-継-09 )  
箇所名 ( 横手市大沢 )

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	道路の現状の問題						
	道路構造上の欠陥箇所数	<ul style="list-style-type: none"> <li>車道幅員&lt;5.5m</li> <li>最小半径&lt;100m</li> <li>最急勾配&gt;5%</li> <li>冬期堆雪巾なし</li> </ul>	3箇所以上	8	8	車道幅員<5.5m 最急勾配>5% 冬期堆雪巾なし 計3箇所	
			2箇所	5			
			1箇所	3			
			0箇所	0			
			計				
	道路環境上の欠陥該当項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>現道の混雑度<math>\geq 1.0</math></li> <li>現道の旅行速度<math>\leq 30\text{km/h}</math></li> <li>現道の事故率<math>\geq 50</math>件</li> <li>通学路指定で歩道なし</li> <li>重大交通事故が発生</li> </ul>	5件該当	7	6	現道の旅行速度 $\leq 30\text{km/h}$ 現道の事故率 $\geq 50$ 件 通学路指定で歩道なし 重大交通事故が発生 計4箇所	
			4件該当	6			
			3件該当	5			
			2件該当	4			
			1件該当	2			
			該当項目なし	0			
	計		15	14			
	緊急性	道路をとりまく環境等					
		関連事業の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>県の主要プロジェクト</li> <li>地域振興プロジェクト</li> <li>ほ場整備等の他事業</li> </ul>	あり	10	10	横手市総合計画 横手市地域公共交通総合連携計画
なし				0			
緊急度の高い課題の有無	老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	あり	5	5	国道107号の唯一の未改良区間		
		なし	0				
計			15	15			
有効性	道路の位置づけ						
	緊急輸送路		第1次輸送路	10	8	第2次緊急輸送路	
			第2次輸送路	8			
			第3次輸送路	6			
			指定なし	0			
	救急医療施設へのアクセス		直接アクセスする	10	6	平鹿総合病院	
			間接的に補完する	6			
			アクセスへの貢献は小さい	3			
	社会変化による事業の必要性		必要性が高い	10	10	横手スマートIC H30年度供用予定	
			低下傾向	6			
必要性が低い			3				
計			30	24			
効率性	事業の投資効果等						
	費用便益比 (B/C)		1.0以上	5	5	B/C=2.32	
			1.0未満	0			
	計画交通量		5,000台/日以上	5	3	3,800台/日	
			1,000台/日以上~5,000台/日未満	3			
	コスト削減		あり	5	5	他工区の発生土を盛土材として利用	
			なし	0			
	事業中止による影響		既投資額の損失大	5	5	用地進捗率97%	
既投資額の部分的損失			4				
既投資額の損失が少ない			3				
計			20	18			
熟 度	事業の進捗進捗状況						
	事業の進捗 (事業費)		8割以上完了	10	5	42%	
			5割以上完了	8			
			1割以上完了	5			
			1割未満	2			
			未着手	0			
	用地買収の進捗 (面積)		8割以上完了	10	10	97%	
			5割以上完了	8			
			1割以上完了	5			
			1割未満	2			
未着手			0				
計			20	15			
合計				100	86		

2. 判 定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		